【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成26年5月8日(2014.5.8)

【公表番号】特表2013-524610(P2013-524610A)
【公表日】平成25年6月17日(2013.6.17)
【年通号数】公開・登録公報2013-031
【出願番号】特願2013-502002(P2013-502002)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｗ　48/16　(2009.01)
Ｈ０４Ｗ　72/04　(2009.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｗ　48/16　１１０
Ｈ０４Ｗ　72/04　１３６

【手続補正書】
【提出日】平成26年3月20日(2014.3.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
セカンダリ局を動作させる方法であって、セカンダリ局が、第１構造を有するサーチ空間により複数のキャリアのうちの第１キャリアをサーチし、前記複数のキャリアのうちの前記第１キャリアの識別が時間とともに予め定められた態様で変更される、方法。
【請求項２】
前記セカンダリ局が、第２構造を有するサーチ空間により前記複数のキャリアのうちの第２キャリアを少なくともサーチする、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記第１キャリアがアンカー・キャリアである請求項１又は請求項２に記載の方法。
【請求項４】
前記複数のキャリアがアクティブなキャリアのセットであり、前記第１キャリアの前記識別が、時間とともに前記予め定められた態様で、アクティブなキャリアの前記セット中のキャリアを変更することによって変更される、請求項１から請求項３のいずれか一項に記載の方法。
【請求項５】
前記複数のキャリアが、アクティブなキャリアのセットの中のキャリアのサブセットであり、前記第１キャリアの前記識別が、時間とともに前記予め定められた態様で、サーチされるアクティブなキャリアの前記サブセットを変更することによって変更される、請求項１から請求項３のいずれか一項に記載の方法。
【請求項６】
前記セカンダリ局が間欠受信周期タイマにしたがって間欠的に動作し、前記セカンダリ局が、各間欠受信周期の終わりにアクティブなキャリアの前記サブセットをサーチする、請求項５に記載の方法。
【請求項７】
前記複数のキャリアがコンポーネント・キャリアであり、前記複数のキャリアのうちの前記第１キャリアの前記識別が、複数の前記コンポーネント・キャリア上の事前に設定された周波数ホッピング・スキームにしたがって変更される、請求項１から請求項６のいず

れか一項に記載の方法。
【請求項８】
前記複数のキャリアのうちの前記第１キャリアの前記識別の変更が、動作中にネットワークによって設定される、請求項１から請求項７のいずれか一項に記載の方法。
【請求項９】
前記複数のキャリアのうちの前記第１キャリアの前記識別の変更が、予め定められた変更スキームのセットからの予め定められた変更スキームの選択により前記プライマリ局によって設定される、請求項８に記載の方法。
【請求項１０】
前記複数のキャリアのうちの前記第１キャリアの前記識別が、ホッピング・シーケンス又は循環シフトにより変更される、請求項１から請求項７のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１１】
前記サーチ空間の前記第１構造が、複数のセカンダリ局に共通であることができる少なくとも１つのキャリア上の共通サーチサブ空間を有し、前記共通サーチサブ空間の少なくとも一部が前記第１キャリア上にある、請求項１から請求項１０のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１２】
前記サーチ空間の前記第１構造が、前記セカンダリ局に固有の第１サーチサブ空間を有し、前記第１サーチサブ空間は第２キャリア上にあり、前記複数のキャリアのうちの前記第２キャリアの識別が、時間とともに予め定められた態様で変更される、請求項１１に記載の方法。
【請求項１３】
前記第１キャリアと前記第２キャリアが同じキャリアである請求項１２に記載の方法。
【請求項１４】
前記第１構造が、前記セカンダリ局に固有の第２サーチサブ空間を有し、前記第２サーチサブ空間が、前記第１サーチサブ空間より小さく、前記第２サーチサブ空間は、前記第１キャリア又は前記第２キャリアの識別が変更されるときに識別が変更されないキャリア上にある、請求項１２又は請求項１３に記載の方法。
【請求項１５】
第１構造を有するサーチ空間により複数のキャリアのうちの第１キャリアを少なくともサーチするための手段を有し、前記第１キャリアの識別が時間とともに予め定められた態様で変更される、セカンダリ局。